

■ 持続可能な社会を担う資質と能力をもつ生徒の育成（高穂中学校）

1 【活動の趣旨】

本校では、課題解決のために計画し、失敗を恐れずやり抜く生徒育成のため、学習の場を地域へ広げ、日頃の学校生活では学べない経験や知識が得られるように地域協働合校事業を推進している。総合的な学習の時間で「たかほ学」と称し、地域へ学校から出かけていくようなつながりある行事を増やしていくために活用できる地域資源について学校運営協議会で協議している。

2 【特徴的な活動内容】

○ 「たかほ学」

1 年生…ふるさと学習

身の回りの問題に気づいて、解決のアイデアを考え、実行していくことが社会に出た時にも重要になってくることを学び、他者と協働しながら主体的な行動を促す。立命館大学キャンパス体験や大阪・関西万博への校外学習を通して、地域のためにできることをフィールドワークや専門家によるセミナーから学び、行動に移す。

2 年生…生きかた学習

キャリアパスポートを活用して自分を見つめなおすとともに、興味・関心のある職業や自分の適性に合った職業について調べ、仕事が生み出す価値や仕事の仕組みについて学び、広い視野を持って自己の進路について考え、2学期に実施する職場体験学習へとつなげた。

3 年生…社会参加学習

修学旅行先（佐賀県・長崎県）の歴史、食・伝統文化、産業を事前学習し、SDGsの視点を取り入れながら社会と自身のつながりを意識し、地域社会の一員として自分にできることは何か考え、より良い草津市を創るための提案を考え、広く伝えていくためグローバル実践（地域や企業、大学や小学校と連携）を行った。



【2年生 校外学習】



【1年生 ふるさと学習】

3 【実施に当たっての工夫】

生徒の学びや課題改善に向けた仮説を確認するため、フィールドワークに出かけたり、専門家によるセミナーを実施したりと体験的な探究学習を取り入れた。

4 【事業の成果】

- ・総合的な学習の時間「たかほ学」での学びが将来社会に出たときに役に立つと肯定的にとらえている生徒は全体の約90%
- ・地域人材の活用やフィールドワーク等、社会に開かれた探求型学習を実施できた。

5 【事業の今後の展望】

令和4年度から、保護者や地域住民へ学校教育を支援していただくため、年間行事や授業補助、学校環境整備等の案内を配布し、ボランティアを募っている。図書書籍ブッカーかけや調理実習補助、校外行事での交通立番等、学校への協力者も定着しつつあるので継続していきたい。